

【目次】

- 【1】第 61 回全国大会報告
- 【2】第 6 回国際大会・第 62 回全国大会のご案内
- 【3】SBS リコーロジスティクス工場見学のご報告
- 【4】関西支部主催学生研究発表会のご報告
- 【5】各研究会(全国・支部)の活動
- 【6】他支部、他学会、その他関連講演・講習会等の案内
- 【7】その他お知らせ・ご連絡



♪==♪==♪==♪==♪==♪==♪

日本生産管理学会関西支部・メルマガ受信希望者各位

新しい期がトランプ大統領の爆弾関税とともに始まりました。日本社会に暮らす私たちにとって、グローバリゼーションはあまりに当然すぎて、改めて語る言葉もないほどですが、このように明らかに自国優先主義を掲げられ、グローバリゼーションに水を差す行動を取られると、改めてその重要性に気づかされます。事業とは、人々の生活や仕事を豊かにするために行われるもの。利他の精神による共存共栄、古くから言われるこの名言を体現することがいかに難しいかを実感させられます。1930 年代の自国中心主義によるブロック主義が第二次世界大戦を引き起こしたことを歴史の教訓として、国際主義を掲げた政治が約 80 年世界大戦をとどめた事実や価値を、新しい桜の季節、もう一度考えたいと思います。



画像:桜は散り際の見事さが本来の姿。大国なればこそその美しさを見せてほしい…

発行:日本生産管理学会関西支部
連絡先:葛西恵里子(ekasai@hi-ho.ne.jp)

【1】生産管理学会第 61 回全国大会報告

先月 3/8(金)~10(日)、愛知工業大学自由ヶ丘キャンパスにて、生産管理学会第 61 回全国大会が実施されました。統一論題を「サーキュラーエコノミーと生産管理」とし、約 100 名の参加と、50 件以上の研究発表が行われました。3/9(土)午前中の社員総会では学会の現状の共有と、様々な改革案が提起されました。特に、会員数の減少傾向と高齢化を防止する対策として、新規会員獲得のための広報活動の重視や、最近の物価高による経費上昇を押さえるための新システムの導入、2017 年以来 8 年ぶりとなる第 6 回国際大会の概要説明など、多彩かつ積極的な取り組みについての報告があり、25 年の活動として承認されました。研究発表会においては、5 件の学生発表を含め、参加者から活発かつ有益な議論ができたとの報告がありました。

【2】第6回国際大会・第62回全国大会のご案内

次回大会は、2017年以降8年ぶりとなる海外での開催です。台湾中部、嘉義市にある、台湾国立嘉義大学新民キャンパスにて2025年8月28日(木)～8月30日(土)を大会基本日程、2025年8月31日(日)をオプション日程として開催いたします。

嘉義市は台中の台北から新幹線(台湾高速鉄道)で約1時間の場所に位置し、阿里山にも近い、歴史と伝統のある地です。戦前から日本と深いつながりがあり、選抜高校野球に嘉義大学の前身からチームを派遣したこともあるところです。大会は、嘉義大学との共催で実施されます。また、国際大会は学会員以外でも参加・発表が可能です。ぜひ、歴史と文化の街で、グローバルに議論を深めていきませんか？皆様のご参加をお待ちしております。

※国際大会 査読付きの発表(予稿6p)(英語発表)の発表申込は、2025年4月30日(水)締切となっております。ご検討中の方はぜひご予約に加えておいてください。

案内のHP <https://jspm.smartcore.jp/M022/forum/int6th/>

申込ページ https://jspm.smartcore.jp/M022/forum/int6th/session_list

【3】SBS リコーロジスティクス工場見学のご報告

去る2月6日、関西支部主催でSBSリコーロジスティクス関西リサイクルセンターの工場見学会を実施しました。当日は雪がふぶく寒い中でしたが、全国から7名の会員が参加しました。当センターは御殿場にあるリコー環境事業開発センターと並ぶ、SBSリコーロジスティクスの西の拠点として、リコー製品のプリンターを回収し、再生してリユースできるものと分解・破碎してリサイクルするものに分別し、リサイクル時には回収できる有価物を取り出す作業を行っています。

一般に産業廃棄物は府県をまたがった移動ができませんが、当社は全国に収集運搬業務許可を取り、広域での回収を可能にするとともに、他の回収業者と連携し、当社の商品のみならず、他社の家電製品など、種々の機械を一旦回収、当社の倉庫にて仕訳を行い、その後それぞれ、適切な事業者へ引き渡されます。当リサイクルセンターでは、残ったリコー製のプリンター、そして同様に他の事業者から回ってきた製品のみを処理します。月間処理能力は約4000台です。

回収された製品は、リコー本社から指定された機種についてはリユース品として御殿場のリサイクル工場に移送されます。移送前には製品の故障確認及び筐体の汚れを落とすなどの作業がなされます。リサイクルされる機種については、計量・不要物除去などの事前準備の後、プラスチック製の筐体の分離や、プリント基板やモーターなど有価性の高いものを取り出し、残りの鉄やプラスチック等、破碎機に投入するものを選別します。破碎には、昨年見学した富士車輛(株)の大型機械が導入されており、堅型粉碎、自力選別、過電流選別などの方法を用い、アルミや銅、などの鉱物を取り出します。その他、使用済みカートリッジの回収も行われており、徹底した資源再生が行われていました。

リサイクルは一言で簡単に言うほど簡単なものではないこと、このような地道な取り組みが資材の有効な活用不可欠だということを改めて感じさせていただきました。

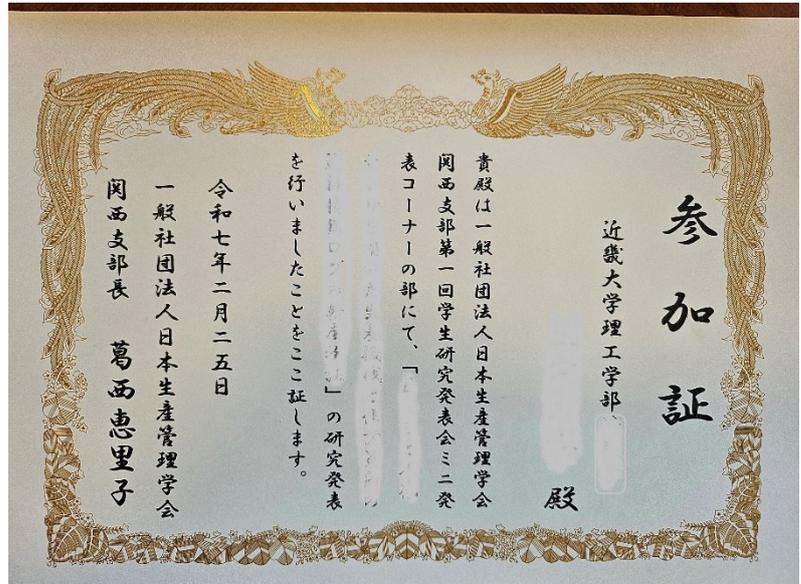




【4】関西支部主催学生研究発表会のご報告

去る2月25日、関西支部主催で学生研究発表会を行いました。これは関西支部として初の取組みであり、若手の少ない関西支部において、若い研究者に関心を寄せてもらう機会にしたいとの思いがあります。研究会には、全国の生産管理学会会員の担当する学生4名に発表を行っていただきました。発表の内容は各教員・学生の関心を元に行われましたが、奇しくも中小企業における人手不足の解消を目的に、作業の効率化を図るものに集中しました。発表者には後日参加証を交付いたしました。聴講者も10名以上の参加をいただき、学生に対する温かいコメントをいただきフィードバックすることで、一年間の研究成果が評価され、また今後の研究への指針ができたのではないかと思います。

発表されたのは主に学部生であり、今回は参加者の状況を踏まえ、オンラインでの実施となりました。また年度の途中での呼びかけでもあり、発表件数は限定的でしたが、継続して実施することで、知名度の向上と参加者の増加を目指していきたいと考えています。来年の実施には、発表者・聴講者がさらに増えることを期待しています。



【5】各研究会(全国・支部)の活動

関心のある研究会がございましたら、直接各「連絡先」までご連絡ください。

<1>生産性向上研究会

2025年4月号の日刊工業新聞社刊『工場管理』に、研究会メンバーによる特集記事「辞めない会社に学ぶ！モチベーションを高める組織づくり」が掲載されました。

・今後の研究会日程

2025年4月19日(土)14:00～ 場所：大阪学院大学葛西研究室(対面)及びWeb開催

・連絡先：林 芳樹 (kyo884@khaki.plala.or.jp)

<2>SDGsのビジネス戦略研究会は、2025年3月の活動を最終に、終了いたしました。

同時開催の新資本主義研究会は継続しますので、興味のある方はご連絡ください。

<3>新資本主義研究会

・次回予定：未定

・連絡先：入江安孝 (yirie@iriesys.jp)

<4>関西生産管理資格制度研究会

・次回予定: 4月13日(日)9:30~11:00

場所: Web開催

・連絡先: 佐藤俊一 (toshi-aoba@mub.biglobe.ne.jp)

<5> ブロックチェーン研究会

・次回予定: 検討中

・連絡先: 森山真光 (moriyama@info.kindai.ac.jp)

<6> 繊維産業研究会

(1) 開催ペース: 2か月に1度、参加者から毎回1名以上の研究の状況と課題を報告し、お互いの知見を活かして繊維産業の今後を考えていきます。

(2) 次回予定: 4/26(金), 20:00~ 場所: Web開催

(3) 連絡先: 葛西恵里子 (ekasai@hi-ho.ne.jp)

【6】他支部、他学会、その他関連講演・講習会等の案内

<1>【日本経営システム学会】ニューノーマル研究部会 2025年度第1回会合(通算第34回)(AI-DX分科会)の開催について

=====

■日時: 2025年4月12日(土曜日) 14時~15時45分

■講演タイトル: 「品質マネジメントの視点からのデータサイエンス=AI・データサイエンス時代で何が変わり、何を変えてはいけないのか」

■講師: 椿 広計先生(情報・システム研究機構データサイエンス共同利用基盤施設副施設長)

■開催方法: ハイブリッド開催 (ZOOM+対面)

■対面開催会場: 東京国際工科専門職大学

■講演内容: 国際標準 ISO/IEC20546:2019 では、「データサイエンス」を、「データから発見、仮説、その検証のプロセスを通じて Actionable 知識を抽出するプロセス」と定めた。既に、1943年 Deming がアメリカ統計学会誌で、「データ取得の究極の目的は Action」とした。Deming は 1950 年に来日し、品質管理の講義をマネジメント層に行い、1951 年から PDCA サイクルに基づく品質管理が日本で開始された。データに基づく問題解決プロセスは、1960 年「問題解決型 QC ストーリー」として開始された。1990 年代には、このプロセスは産業界では DMAIC、初中等教育では PPDAC サイクルとして世界に普及した。今日でも米国のデータサイエンス専門職カリキュラムは、問題解決プロセスを実現する人材育成を目的としている。プロセスの中に、記述統計的手法から機械学習の先端技法を埋め込むカリキュラムが形成され、専門職を如何に産業界が活用するかというマネジメント層教育も存在する。日本の AI ブームは、AI 技術ないしは機械学習技術導入が、日常管理の生産性向上のみならず、組織の産業競争力復興に繋がるとの楽観論を与えていることを危惧する。この時代にマネジメントや専門職が行うことは何なのか、自身の目標を達成する科学的プロセスは何なのか、さらにそのプロセスの各フェイズにどのような AI 技術を活用することで、どの程度経済価値が創出し得るかを皆さんと議論したい。

■講師略歴: 1982年東京大学大学院工学系研究科修士課程修了、東京大学工学部助手。1987年慶應義塾大学理工学部講師、1988年工学博士、1997年筑波大学大学院経営システム科学専攻助教授、同教授を経て2005年統計数理研究所リスク解析戦略センター長を兼務。2007年統計数理研究所データ科学研究系教授、統計数理研究所副所長を経て、2015年独立行政法人統計センター理事長。2019年統計数理研究所第12代所長に就任。2025年統計数理研究所長を退任。現在情報・システム研究機構データサイエンス共同利用基盤施設副施設長。

現在、横断型基幹科学技術研究団体連合会長、日本自殺総合対策学会理事長、IAQ出版担当副会長を務める一方、主要な省庁の委員会および審議会委員や座長をつとめる。

デミング賞本賞、経済産業大臣表彰標準化功労賞、日経品質管理文献賞、計測自動制御学会論文賞、日本統計学会・サービス学会活動賞、日本品質管理学会・日本リモートセンシング学会・経営情報学会奨励賞などを受賞

■参加方法: 以下の URL から出席可否の登録をお願いします。

ご登録締め切りは 2025 年 4 月 9 日 17 時です。 <https://forms.gle/osd1QPbN1yhFwo7e8>

オンライン参加のご登録者には後ほど ZOOM 招待状を送付させていただきます。

※ご不明な点がございましたらご連絡ください。

三森八重子・大阪大学招聘教授 dt4y-mtmr@asahi-net.or.jp

上條浩一・東京国際工科専門職大学教授 kkamijoh@gmail.com

【7】その他お知らせ・ご連絡

・支部メンバーコラムへの投稿を募集します!

メルマガに記載のコラム記事をお寄せください。

内容は各自が普段お考えになっていることをつれづれなるままにお書きいただければと思います。

ご本人の署名記事となりますので、ご自身の思いをメンバーや一般のHP閲覧者に知っていただくよい機会になると思います。

基本的に不適切な場合を除き、内容については寄稿されたものをそのまま掲載いたします。

奮ってご寄稿ください。

・次回メルマガ情報提供のお願い

本メルマガは、関連の皆様の情報で作りに上げていきます。

以下の情報をお持ちでしたら、末尾「連絡先」までご一報ください。

なお、**次回発行は2025年5/中旬**を予定しています。

2025年4/末を目途に連絡をいただけると幸いです。

◎**署名記事を募集**します。ぜひ日頃皆さまがお考えのことをご披露いただき、議論の場にしていただければと思っております。

◎他学会・他支部、その他関連講演会、書籍出版等、の情報があればお知らせください。

・読者募集・拡散のお願い

本メルマガは、支部内外・学会内外に関わらず、拡散歓迎です。

生産管理に興味をお持ちの方に広く知っていただけますと幸甚です。継続して受信希望のある方は、直接送付いたしますので、末尾「連絡先」までご一報ください。

また、Facebookの**フォロー/いいね!**もぜひお願いいたします。

Facebook 一般社団法人日本生産管理学会関西支部のページ

<https://www.facebook.com/jspmkansaihibu/>

★内容に関するご意見・ご質問も大歓迎です。



本日の内容は以上です。

発行: 日本生産管理学会関西支部

連絡先: 葛西恵里子 (ekasai@hi-ho.ne.jp)

*このメールは日本生産管理学会関西支部会員および学会内外の希望された方へ配信しています。

また、このメーリングリストに登録の各位のアドレスは、生産管理学会のリストと同期できません。

アドレス変更をされる場合は、上記連絡先までご一報ください。